

調布市内で働く福祉職のスキルアップのための研修です

専門研修(オンデマンド配信)のご案内【5~7月】

市内の福祉職のスキルアップを目指した専門研修です。

〈対象〉市内在勤の福祉職。お一人、何講座でもお申込みいただけます。

〈配信期間〉5/11(水)~7/29(金)

〈申込み〉右記QRコード、または福祉人材育成センターHPの問い合わせフォームからお申込みください。配信期間になりましたら、URLをお送りいたしますので、アクセスしてご視聴ください。

※問合せフォームから申込の際には希望の講座番号、福祉職としての経験年数を記載してください。

申し込み後1週間以内に事務局から連絡がない場合、お手数ですが福祉人材育成センターにご連絡ください。



〈申込フォームQRコード〉

〈申込期間〉5/2(月)~7/29(金)

【問い合わせ先】

調布市福祉人材育成センター(こころの健康支援センター内)

☎: 042-452-8180(月~金 9:00~17:00) メール: jinzai@ccsw.or.jp

ホームページ






<p>①</p> <p>福祉職の学びのススメ ~実践研究のすすめ~ 講師: 山本 雅章氏 (調布市社会福祉事業団)</p>	<p>福祉職の学びのススメ ~実践研究のすすめ~ 山本雅章氏 (調布市社会福祉事業団)</p>	<p>⑥</p> <p>わかりやすいSST 講師: 清水有香氏 (SST普及協会・認定講師)</p>	<p>わかりやすいSST 清水有香氏 (SST普及協会)</p>
<p>②</p> <p>発達障害者支援の基本 講師: 新井豊吉氏 (東京家政大学)</p>	<p>発達障害者支援の基本 新井豊吉氏 (東京家政大学)</p>	<p>⑦</p> <p>コミュニティ・オーガナイズングを学ぶ 講師: 室田信一氏 (東京都立大学)</p>	<p>コミュニティ・オーガナイズングを学ぶ 室田信一氏 (東京都立大学)</p>
<p>③</p> <p>強度行動障害の理解 ~問題行動の背景を探る~ 講師: 藤井亘氏 (NPO法人クローバー)</p>	<p>強度行動障害の理解 ~問題行動の背景を探る~ 藤井亘氏 (NPO法人クローバー)</p>	<p>⑧</p> <p>エンパワメントのパラドックス 講師: 稲沢公一氏 (東洋大学)</p>	<p>エンパワメントのパラドックス 稲沢公一氏 (東洋大学)</p>
<p>④</p> <p>高齢者をエンパワメントするソーシャルワーク 講師: 渡辺裕一氏 (武蔵野大学)</p>	<p>高齢者をエンパワメントするソーシャルワーク 渡辺裕一氏 (武蔵野大学)</p>	<p>⑨</p> <p>ケアの眼差しとは何か ~ケア実践の根本問題を考える~ 講師: 結城俊哉氏 (立教大学)</p>	<p>ケアの眼差しとは何か ~ケア実践の根本問題を考える~ 結城俊哉氏 (立教大学)</p>
<p>⑤</p> <p>罪を犯した知的障がい者の支援 講師: 木下大生氏 (武蔵野大学)</p>	<p>罪を犯した知的障がい者の支援 木下大生氏 (武蔵野大学)</p>		

※各研修記載のQRコードを読み取るとお試し視聴できます（1分程度）

No	研修タイトル・講師	内容
①	<p>R4人材 専門研修</p> <p>福祉職の 学 び の ス ム</p> <p>～実践研究のすすめ～</p>  <p>講師：山本 雅章氏 (調布市社会福祉事業団)</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉職の学び 語り、書くことの社会的意義 実践報告と実践研究 	<p>福祉職はなぜ学ばなければならないのでしょうか？そして、どのように学ばよいのでしょうか？</p> <p>福祉職の学び方や語り、書くことの社会的意義、実践報告の書き方について、自らも働きながら学び続けた山本雅章先生にお話していただきます。</p> <p>「学ぶ」ことの動機づけが得られる研修です。福祉職としてステップアップしたい方におススメです。</p> <p style="text-align: right;">【約90分】</p>
②	<p>R4人材 専門研修</p> <p>発達障害者支援の 基 本</p>  <p>講師：新井豊吉氏 (東京家政大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚支援の重要性 特性を理解する 感覚刺激の偏りとは 環境調整の大切さ 氷山モデルの活用  <p>関連講座：③</p>	<p>特別支援学校の教員として、発達障がいのある児童を長年試行錯誤しながら支援してきた新井豊吉先生に、発達障害の特性をたくさんの事例の踏まえながらお話していただきます。</p> <p>動画がたくさんあるので、一つひとつの特徴を丁寧に理解することができます。</p> <p>特に児童の支援をしている方におススメです。発達障害の特性を理解することで虐待防止にもつながる研修です</p> <p style="text-align: right;">【約90分】</p>
③	<p>R4人材 専門研修</p> <p>強度行動障害とは 自閉症の特性を理解する</p> <p>学びと肯定的理解の重要性</p> <p>強度行動障害の 理解</p> <p>～問題行動の背景を探る～</p>  <p>講師：藤井亘氏 (NPO法人クローバー)</p>  <p>関連講座：②</p>	<p>「急に動かなくなる」「急に走り出す」「暴れる」「パニックになる」などの行動の背景には何があるのでしょうか？</p> <p>自閉症の特性や強度行動障害について、当センターの行動援護従業者養成研修の講師の藤井亘先生にお話していただきます。</p> <p>動画を通じて自閉症の世界を体験しながら学ぶことができます。自閉症の特性や強度行動障害を理解することで虐待防止にもつながる研修です。</p> <p style="text-align: right;">【約90分】</p>

No	研修タイトル・講師	内容
④	 <p>高齢者をエンパワメントするソーシャルワーク</p> <p>講師：渡辺裕一氏 (武蔵野大学)</p> <p>関連講座：⑦、⑧</p>	<p>高齢者や地域住民のエンパワメントについて「超高齢化した集落」の事例を参考に考えていきます。</p> <p>地域での生きづらさや困難をどのように捉えて、何を大事に支援していくのか。すでに現場では試行的な取り組みが始まっています。</p> <p>渡辺先生のお話は高齢者福祉分野の方だけでなく、地域社会の住民としても、ソーシャルワーカーとしても参考になります。全てのソーシャルワーカーにおススメの研修です。</p> <p>【約90分】</p>
⑤	 <p>罪を犯した知的障がい者の支援</p> <p>講師：木下大生氏 (武蔵野大学)</p> <p>関連講座：⑦、⑧、⑨</p>	<p>知的障がいがある方が罪を犯す背景には一体何があるのでしょうか？刑務所にいる知的障がい者の実態や司法と福祉の連携について、武蔵野大学の木下先生にお話ししていただきます。</p> <p>福祉が司法化した時の弊害についての先生のご指摘は、ソーシャルワーカーとしての支援観に立ち返るきっかけを与えてくれます。知的障がいの支援に興味のある人だけでなく、全てのソーシャルワーカーにおススメの研修です。</p> <p>【約90分】</p>
⑥	 <p>わかりやすい SST</p> <p>講師：清水有香氏 (SST普及協会・認定講師)</p> <p>関連講座：⑦、⑧、⑨</p>	<p>こころの健康支援センターで長年SSTの講師をしている清水有香先生にSSTの基本的な知識をお話していただきます。</p> <p>面接場面でも使える「ひとり(個別)SST」の簡単な説明もありますので、相談援助スキルの一つとして学ぶことができます。SSTの様子場面を再現した動画もありますので、実際のSSTの雰囲気をつかむことができます。相談援助職の方にもおススメの研修です。</p> <p>【約70分】</p>

No	研修タイトル・講師	内容
⑦	<p>R4人材 専門研修</p> <p>コミュニティ オーガナイズिंगを学ぶ</p> <p>地域福祉分野だけでなく、「何か」を変える ために行動したい方にも役立ちます</p> <p>講師：室田信一氏 (東京都立大学)</p> <p>コミュニティ・オーガナイズिंगとは リーダーとはどのような人か</p> <p>関連講座：④、⑧</p> 	<p>コミュニティ・オーガナイズングとは地域住民の力で地域や社会を変えていく方法であり、考え方を言います。</p> <p>自らもアメリカで仲間を作り、変化を求めて行動したコミュニティ・オーガナイズング経験のある東京都立大学の室田信一先生にお話していただきます。</p> <p>地域を変えたい、組織を変えたいなど、何か変化を起こしたいけれどもどう行動したらわからない方におススメの研修です。リーダーシップのありかたや戦略の考え方について学ぶことができます。</p> <p>【約90分】</p>
⑧	<p>R4人材 専門研修</p> <p>すべての福祉職におススメ</p> <p>エンパワメントの パラドックス</p> <p>エンパワメントの歴史 パートナーシップ エンパワメントの援助関係</p> <p>講師：稲沢公一氏 (東洋大学)</p> <p>関連講座：④、⑤、⑦、⑨</p> 	<p>福祉のみならずいろんな分野で使われる「エンパワメント」という言葉ですが、もともとはどのような場面で使われていたのでしょうか？</p> <p>「エンパワメント」の歴史的背景や活動レベル、援助関係について学んだ後に、その「パラドックス（逆説）」について東洋大学の稲沢公一先生にお話していただきます。</p> <p>「エンパワメント」という切り口ですが、対人援助そのものについて考えることができます。自分の実践を振り返る手がかりになる研修です。</p> <p>【約90分】</p>
⑨	<p>R4人材 専門研修</p> <p>ケ ア の眼差しとは何か ＝ケア実践の根本問題を考える＝</p> <p>ケアの眼差しと「問題」から「課題」へ 生活の困難を理解する5つの基本的視点 砂漠の中の井戸を探す仕事 ケアにとって「不滅なもの」とは</p> <p>講師：結城俊哉氏 (立教大学)</p> <p>関連講座：⑧</p> 	<p>「ケアの眼差し」とは「ケアの対象者を生活者として知覚し、抱える生活の困難を生きづらさと認識する眼差し」を指します。</p> <p>「ケアの眼差し」を手がかりにしながら、「生活の困難」を理解する基本的視点やケアの担い手に望ましい態度、姿勢などについて立教大学の結城俊哉先生にお話していただきます。</p> <p>対人援助の基本となるアセスメントに必要な視点を学ぶことができます。自分のダークサイドを自覚し、「ケアの嗜癖症者」にならないために、自分自身を振り返ることで虐待防止にもつながる研修です。</p> <p>【約90分】</p>